



ハイパーCLT敷板

仮設資材の新たな選択肢

ハイパーCLT敷板のご案内

(NETIS番号：TH-250021-A)

株式会社カイトク



カイトク

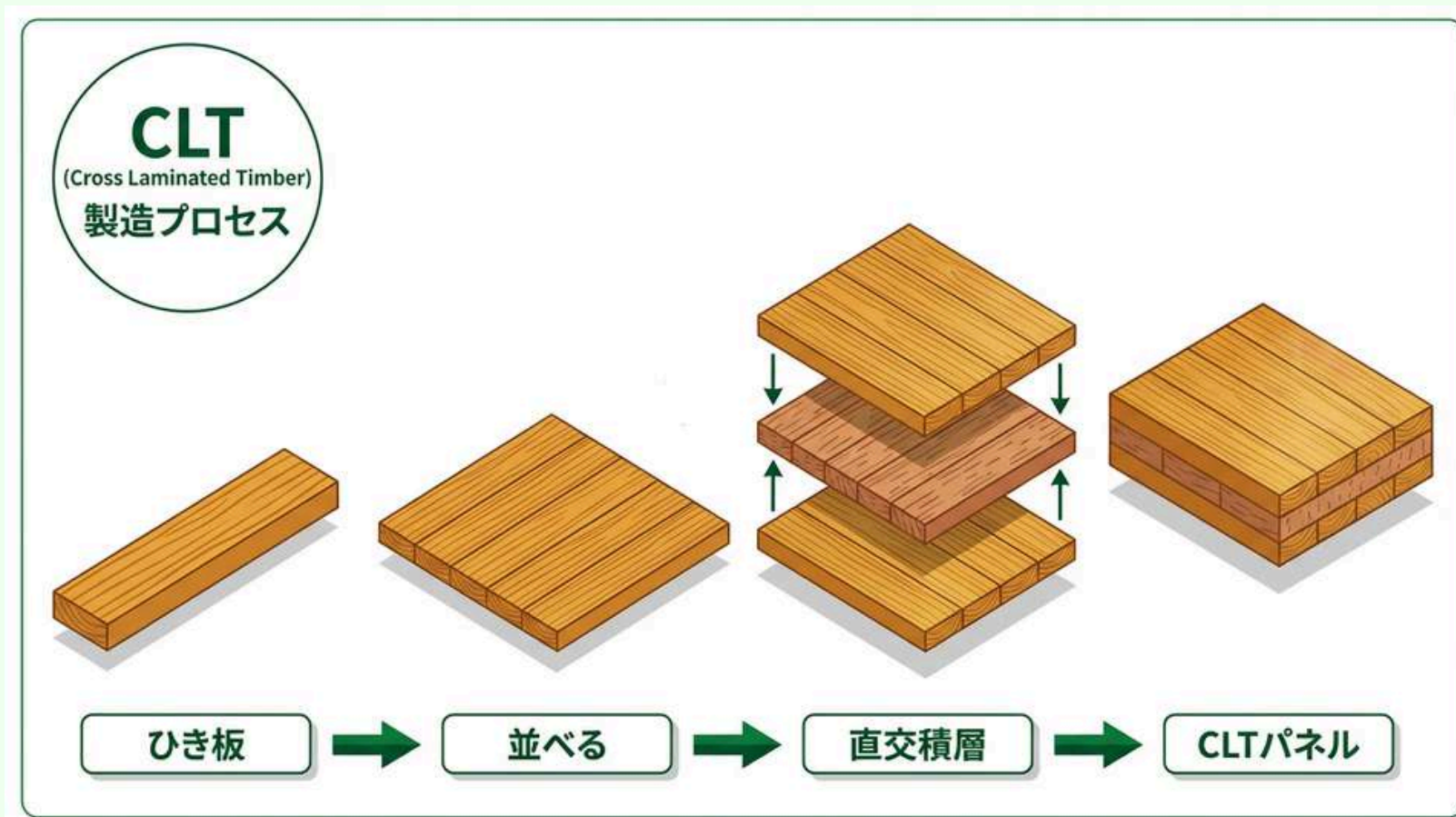
ハイパーCLT敷板とは...



建設現場で重機や車両を通行しやすくする為に、敷鉄板を敷くのが一般的です。

その敷鉄板を、**木製の敷板(ハイパーCLT敷板)**に変えることで、運送コスト削減、施工性、安全性、環境面、熱中症対策、騒音対策など、様々な効果がある。

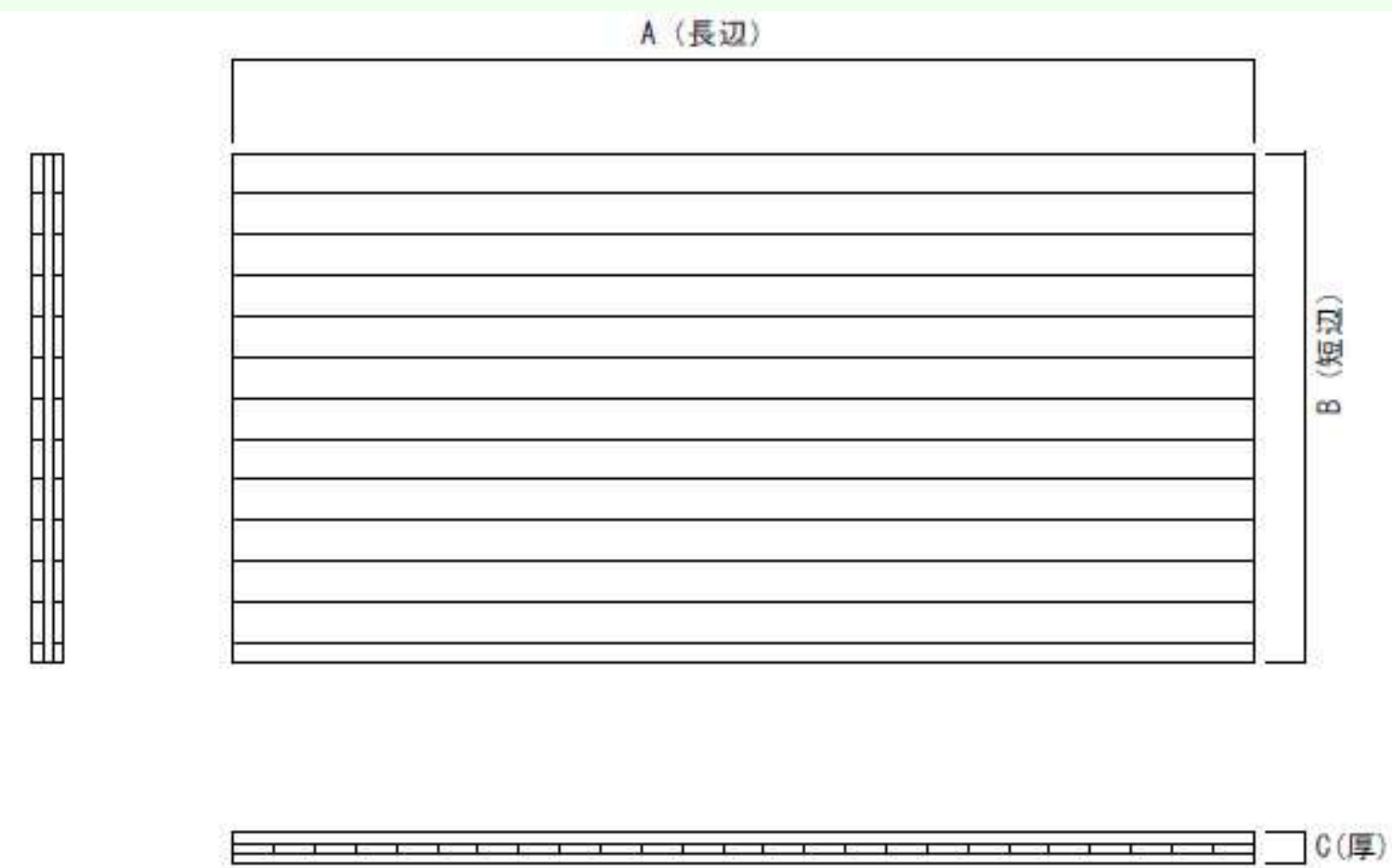
CLT 敷板の仕組み



CLT（Cross Laminated Timber）は、直交集成板とも呼ばれる木材の加工製品です。複数の木板を層状に重ね、各層を直交（交差）させて接着した構造材です。

弊社のCLTは3層90mm厚になります。

取り扱い製品サイズ



3. 寸法・参考重量

呼称サイズ	A(長辺)mm	B(短辺)mm	C(厚)mm	参考重量
5×10版	3000±10	1500±10	90	230kg/枚
5×20版	6000±10	1500±10	90	460kg/枚



ハイパーCLT敷板はNETIS登録商品

- NETISとは、ひとことと言うと「国交省が運用している“公共工事で使える新技術のデータベース”です。



民間が開発した新しい工法・製品などを、公共工事でも検討しやすいように、情報をまとめて公開している仕組みです。 目的は「新技術を現場で使って、生産性や安全性を上げる」 ための情報共有です。

国交省は「新技術を使ったら評価される」枠組みを作っており、

入札時：総合評価方式で新技術活用の提案が評価対象になりやすい。

施工後：新技術活用が工事成績の加点対象になりやすい。





軽量な資材

鉄板と比べて、約4分の1の重量の為、軽いのが特徴です。輸送コストも安く抑えることができます。

重量目安

- ・ 5×10版サイズ (1.5m×3m)

重量：約230kg

- ・ 5×20版サイズ (1.5m×6m)

重量：約460kg



輸送コストが削減できる

- ・ 5×10版 3m×1.5m×厚90mm
(重量230kg)

10t車の場合(230kg×40枚=9200kg)
5×10版であれば、約40枚積込可能



現場の熱中症対策になる！

【表面】左：敷鉄板、右：CLT 敷板



【表面から約 1.6 メートル】左：敷鉄板、右：CLT 敷板



8月猛暑日、現場での測定の様子

実験結果

測定位置	CLT 敷板	敷鉄板
表面温度	51.1℃	74.8℃
約 1.6m 上部	55.5℃	66.9℃

トップ > 社会

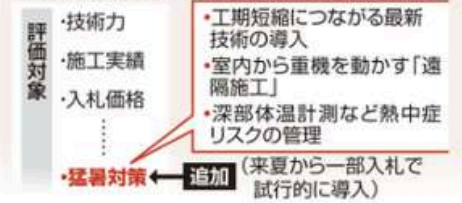
土木工事で「猛暑対策」提案なら入札優遇...国交省が来年夏に試行、建設業界全体に「創意工夫」促す

2025/12/22 05:00

保存して後で読む f X BI シェアする

国土交通省は、来夏に行われる同省発注の土木工事の入札で、科学技術を活用した猛暑対策を提案する建設業者を優遇する仕組みを試行的に導入する。猛暑が深刻となる中、熱中症予防に向けた創意工夫を建設業界全体に促すのが狙いで、再来年からの本格導入を目指している。

●猛暑対策を評価対象に加えた入札のイメージ 国交省発注の土木工事の入札（総合評価落札方式）



猛暑対策を評価対象に加えた入札のイメージ

Google はこの広告の表示を停止しました

[PR]

同省の入札は主に、技術力や施工実績、価格などを点数化した「総合評価落札方式」で行われ、合計点が最も高い業者が落札する。

関係者によると、来夏にかかる一部工事の入札で、同方式の評価対象に科学技術を活用した猛暑対策を加え、全ての参加業者に提案を求める。対策例として、夏場の工期短縮につながる最新技術の導入、室内などの離れた場所から無人重機を動かす「遠隔施工」の活用、深部体温の計測などによる作業員の熱中症リスクの管理などが想定される。

このほか、真夏の現場作業を休む「夏季休工」など、夏場の工期や作業時間を受注者側が選べる仕組みも来夏から導入する。

CLT敷板は、敷鉄板よりも照り返しが無く、暑さを感じにくいので、現場の熱中症対策になります。

国などの現場では、猛暑対策として創意工夫に活用しやすいです。

強度がある

CLT敷板は、木材を複数層直交させて接着する構造により高い強度を持ち、重機や車両の荷重にも十分耐えられます。

25tクレーンが乗っても問題ありません。



CO₂削減に貢献する完全循環型の仮設資材

CLTは木材(間伐材)で作られているため、環境負荷が低く、現場のCO₂削減に貢献します。

耐久期間を終えると、バイオマス発電のチップ燃料とするため、循環型の仮設資材です。

工事成績に関わる創意工夫などへのアピール材料になります。



現場の騒音対策になる

CLT敷板は、重機が通っても、大きな音が出にくくなっています。

敷鉄板のように鉄と鉄が当たる音が無く、近隣対策でも有効に活用できます。

敷鉄板と比べた際も、騒音値がCLT敷板の方が低いことが分かった。

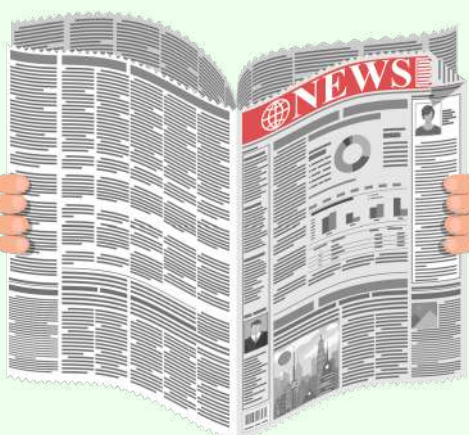


■ 実験結果

	測定 1 回目 (dB)	測定 2 回目 (dB)	測定 3 回目 (dB)	平均 (dB)
CLT 敷板	66.2	68.8	64.1	66.3
敷鉄板	90.5	98.2	85.5	91.4

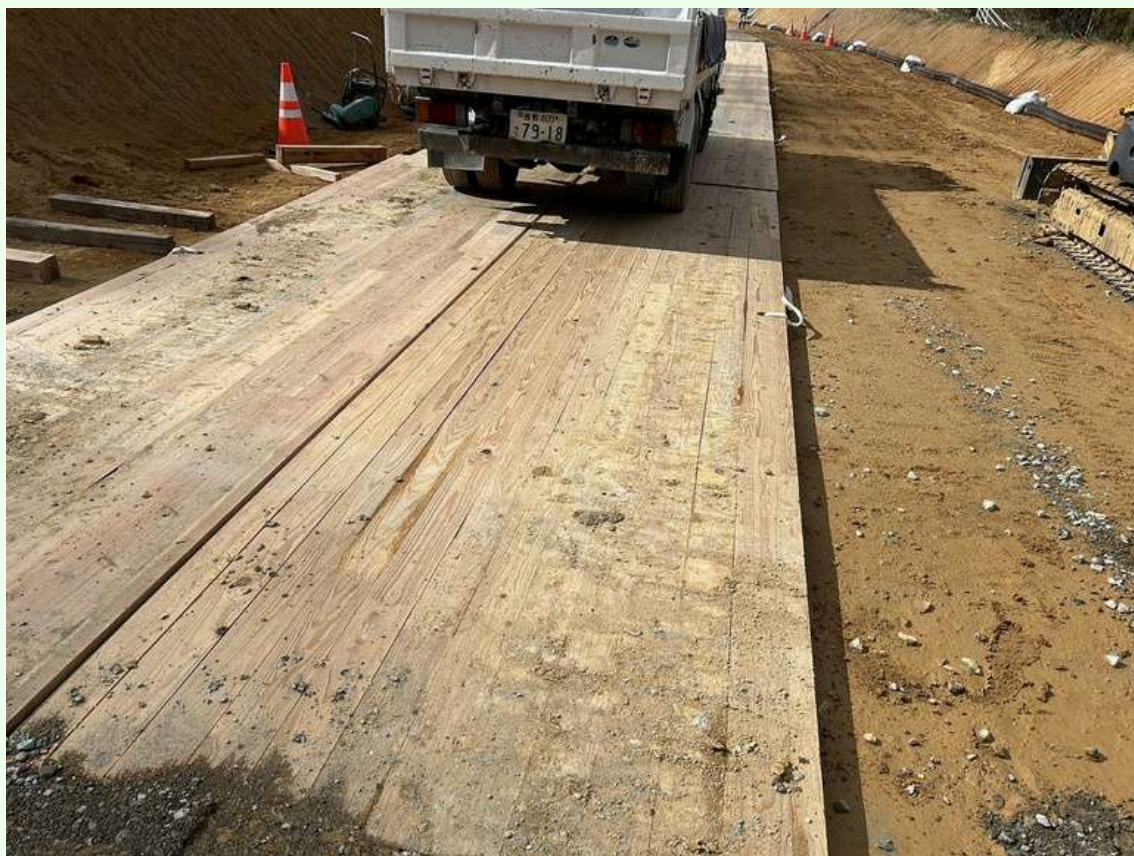


山陽新聞、建通新聞、産経新聞、日本経済新聞
、VOIX NEWS、岡山経済新聞 など

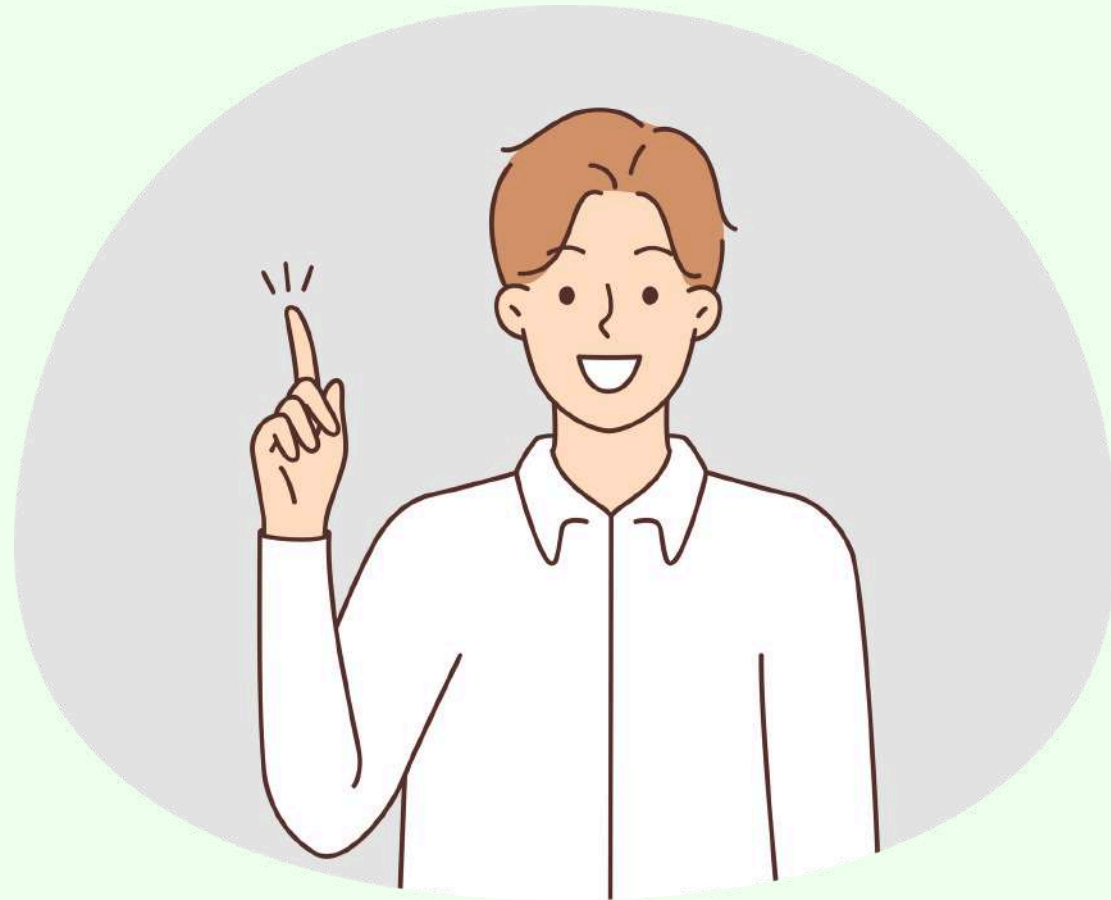


導入事例

国土交通省、農林水産省、都道府県、市町村の公共工事での使用実績多数



導入方法(ご利用プラン)



- ・リースもしくは販売
- ・全国どこでも提供可能

※輸送費、設置撤去費などはお客様負担となります。

- ・搬入時の荷下ろし、設置、撤去、返却時の積込は、お客様にて対応をお願いいたします。

(※運送会社は荷下ろし、積込は行いません)

- ・運送費、輸送費、設置撤去費はお客様負担となります。出荷は岡山からの予定です。



お問い合わせ先

株式会社カイトク



営業部 坂手剛



〒700-0921 岡山県岡山市北区東古松3丁目12-14



086-201-9970



t.sakate@sakate.co.jp



YouTubeにて、ハイパーCLT敷板を使用した現場の様子などを配信しております。